

舞鶴小・中学校（仮称）開校準備委員会ニュース

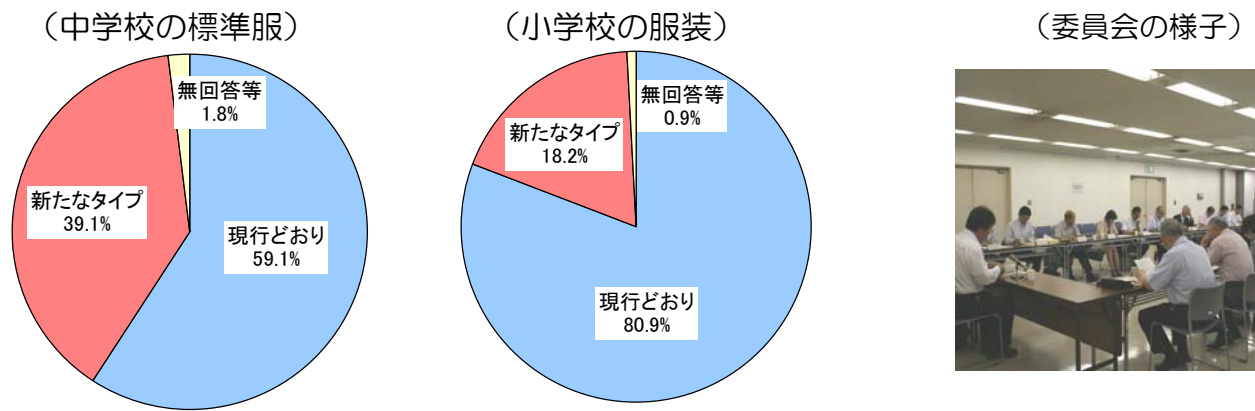
第12号 H24.6.18 発行

トピックス

平成24年6月7日（木）に開催された、第8回開校準備委員会についてお知らせいたします。
新しい学校名が決まったことから、「舞鶴小・中学校（仮称）開校準備委員会」に改めるとともに、これまで学校教育部会、交通安全部会、施設部会と分かれていた専門部会を一本化し、1つの部会で総合的に検討することになりました。あわせて、委員の紹介も行われました。

1 学校教育部会報告事項（部会長：舞鶴小学校 吉野校長）

【新設校の中学校の標準服、小学校の服装について】



※中学校の制服、小学校の服装に関する意向調査
（期間）平成23年12月5日～14日（対象）小学校5・6年生、中学生、小中学校の保護者及び教職員

決 定 ○中学校の標準服は現行通り、男子は詰め襟型、女子はセーラー型とする。
ただし、ラインやスカーフの色は今後検討する。
○小学校の服装は現行通り、私服とする。

【新設校の校歌について】

検討中 ○統合小学校の校歌は新たに作成するため、教育委員会を窓口として、制作者と協議を行う。
○作詞にあたっては、制作者に校区の特色を伝える。

【平成24年度の教育課程について】

報告 平成24年度の教育課程について、学校より報告を受け議論した。
○算数は、課題の多い単元の授業時数を増やすとともに、パワーアップタイムの活用等により学力の定着を図る。
○英語は、平成23年度と同様に、小学校1年からネイティブスピーカーによる授業を行うなど、コミュニケーション能力の育成を行う。
○小・中連携の取組みとして、中学入学前の6年生に春休みの宿題を実施。
○小・中学校9年間を見据えた、学習及び生活規律指導計画を策定し実施。
○舞鶴中ブロック年間行事計画を策定し、3小合同の歓迎遠足や修学旅行等を実施。

「小中連携校の目玉となるような教育カリキュラムを検討し、『この学校に行かせたい!』と思われるように、地域としても案を出していきたい。」との意見があった。

2 全体報告事項（事務局）

【第2グラウンドについて】

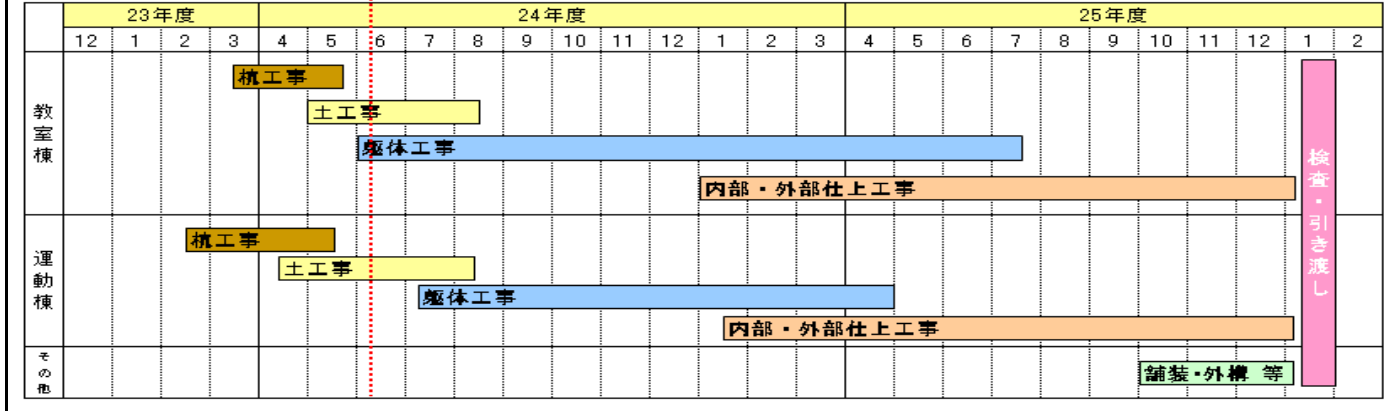
決定 検察庁の九州大学六本松キャンパス跡地への移転が遅れることに関連して、第2グラウンドの整備が遅れるため、課題解決方法を以下の通り決定した。
○放課後は新設校のグラウンドを中学生の部活動が利用し、小学生のサークル活動については、大名小・簀子小を利用する。
○中学生のテニスコートについては、大名小に仮設コートを設置する。
○小学生の遊び場は、人工芝広場（約1,000㎡）とする。
○校舎の解体時期については、今後も議論する。

（工事現場の様子）



【工事の進捗状況について】

報告 ○工事は順調に進んでいると報告された。



【新設校の校章について】

検討中 ○施設一体型小中連携校の特色を出すため、小・中学校は統一した新校章とする。
○現在、香蘭ファッションデザイン専門学校（中央区大手門）の生徒から、校章デザイン案として150～200案を提案予定。
○児童、生徒、保護者、教職員を対象に7月に意向調査を実施し、デザイン案を10案程度に絞り込み、秋頃に絞り込んだデザイン案の中から最終意向調査を実施して、来年1月に校章を決定する。
○意向調査については、今後決定次第お知らせする。

